

2025
冬号

History

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい…。

Contents

- TOPICS : マミートラック
- 困難女性支援法について
- 令和6年度 事業報告
- 「モラルハラスメント」を考える

まらまら

今、ひとりひとりが…

第75号

男女共同参画啓発 DVD 貸出を行っています。



DVD 貸出、お問い合わせは
伊賀市男女共同参画センター(☎0595-22-9632)まで

映像で学ぶジェンダー入門

①男らしさ/女らしさ

-社会を覆うジェンダーステレオタイプ-



男らしさ、女らしさといった考え方は無意識に存在します。様々な事例から、身近なところに潜むジェンダーについて考えます。

(約40分)

映像で学ぶジェンダー入門

②多様な性



性自認、性役割、性的指向といった「性」の考え方について学び、性のあり方の多様性について、様々な事例をもとに考えます。

(約30分)

映像で学ぶジェンダー入門

③結婚・家庭におけるジェンダー



家事の分担、出産や子育てなど、結婚や家庭におけるジェンダーに関する様々な事柄について身近な事例をもとに考えます。

(約40分)

映像で学ぶジェンダー入門

④労働とジェンダー



男女間の賃金格差など、女性の労働環境は様々な面において多くの課題があります。

これからの労働のあり方について考えます。

(約30分)

映像で学ぶジェンダー入門

⑤性暴力と性の商品化



性はしばしば商品化され、時に個人の尊厳を傷つける暴力となります。

身近に起こりうる性暴力や性の商品化の事例を通じて、そこに潜む課題について考えます。

(約40分)

安心できる避難所づくり

～男女共同参画の視点を避難所運営に～



災害は、いつ、どこで起きてもおかしくありません。

どのような避難所づくりが大切なのか男女共同参画の視点から一緒に考えます。

(約30分)

発行 (令和7年2月1日発行)

編集

伊賀市 人権生活環境部 人権政策課

伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地

編集スタッフ

Tel(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666

岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子

メール jinken-danjo@city.iga.lg.jp

矢野 美幸 (担当) 正井 尚美・前田 詩乃



マミートラックという言葉を知っていますか？

マミートラックとは、子どもがいる女性が出産や育児をきっかけに、会社の昇格・昇進コースから外れていたりキャリアが狭まるような状況になったりすることを意味しています。

マミートラックは「マミー（母親）」と「トラック（競技場の周回コース）」を組み合わせた言葉で、最初は企業が働く母親をサポートするというポジティブな意味合いでしたが、今は昇格や昇進の道から外れて、同じ周回をグルグル回るようなネガティブな印象が強い言葉になっています。

21 世紀職業財団がミレニアル世代（1980 年～1995 年生まれ）で子どものいる夫婦を対象に実施した調査（令和 5 年度男女共同参画白書掲載）によると、女性全体の 46.6%、総合職の約 4 割が「難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もない」状況（いわゆるマミートラック状況）に陥っているという結果が出ています。



マミートラックが起こる原因は様々ありますが、

- ・仕事と子育てを両立しにくい環境において、時短勤務などを理由に重要な業務や立場から遠ざけられてしまうこと。

- ・「出産した女性に重要な仕事は任せない方が良い」等といった考え方が会社の中で浸透していると、本人の意思とは無関係に、配置転換や重要な業務が与えられない状況になってしまうこと。

- ・「育児は女性がするもの」という固定観念を女性自身も持つことによって、仕事をしたくても諦めてしまう状況になってしまうということ等が考えられます。

女性が子どもを出産した後も、将来のキャリアへの展望を失わずに活躍するためには、企業側がその人がどのような働き方を求めているのかコミュニケーションを図ったり、リモートワークやフレックスタイム制の導入など働き方を柔軟にしていったりすること等が必要です。

コロナ禍を経て、柔軟な働き方が広がってきた今こそ、誰もが活躍できる社会に移行していくことが重要です。

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律

〇女性をめぐる課題は、生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化しています。また、コロナ禍によってこうした課題が顕在化しました。「孤独・孤立支援」といった視点も含め、新たな女性支援の根拠法として、令和6年4月に施行されました。

〇これまで女性支援法として「売春防止法」がありましたが、「売春をなすおそれのある女性」に対象者が限られており、「補導処分、保護更生」が目的でした。

この法律では、「困難な問題を抱える女性」に対象を広げ、その女性が自分の意思を尊重されながら、寄り添いつながり続ける支援を受けられ、自立して暮らすことのできる社会を実現することが目的となっています。

あなたの
ミカタ



「あなたのミカタ」は、厚生労働省が特設した DV や性暴力といった困難な問題を抱える女性のための支援ポータルサイトです。

(<https://anata-no-mikata.mhlw.go.jp/>)

5/18
9/21
実施

おとこの料理教室



男性が家庭生活に積極的に参加し、家事の自立をめざすために、料理初心者の男性を対象に年 3 回実施しています。

参加者コメント

「はじめて天ぷらをしました。
今後は家でも挑戦したいと思います。」
「また行こうとするのを目標に！」

10/5
実施

三重県内男女共同参画連携映画祭



三重県では毎年、「男女共同参画」を身近に感じてもらうために県内自治体が連携し、「映画祭」を開催しています。

伊賀市では「最高の人生の見つけ方」を上映しました。上映前に、男女共同参画の視点から映画を見るために、プレトークを実施しました。

参加者コメント

「今からどう生きるか考えてみようと思った」
「映画の内容に共感したり、気づきがたくさんあり大変良かった。」



伊賀市男女共同参画センターでは、毎年男女共同参画に係る事業を実施しています。内容の詳細が決定次第、「きらきら」や広報いがに掲載予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

令和6年度 事業報告

9/29
実施

ファミリースマイルアップ講座



こどもを取り巻く家族みんなが心豊かになれるよう、楽しく人権感覚を養い、またワーク・ライフ・バランスの実現をめざし、実施しています。

第1部は人権擁護委員による紙芝居を行い、

第2部では、それぞれ違う遊具が置いてある部屋で、年齢に合わせて自由に遊ぶことができ、子どもたちの笑顔があふれていました。



11/12
実施

パープルライトアップ



「女性に対する暴力をなくす運動」期間初日の11月12日に、パープルライトアップを実施しました。

伊賀市では、ハイトピア、伊賀上野城、上野市駅をライトアップしました。シンボルカラーの紫色にライトアップすることで、「あなたはひとりじゃない」というメッセージを発信しています。



知らない間に被害者に、知らない間に加害者に・・・



モラハラ

あなたは悪くない・・・

モラハラは、家庭や恋愛関係など個人対個人の関係性において、相手に言葉の暴力・態度などで追いつめる、否定や軽蔑、困惑をさせて精神的状態を不安定にし、自尊心や判断力を失わせる行為。

モラハラへの対処法(一例)

- 周囲のだれかや相談機関に伝えてみる
- 経済的、精神的に自立をする準備をする
- 相手を変えようとしなない、変わると期待しない
- 理不尽な攻撃を受けたら向き合わず、距離を置く



伊賀市こども
家庭支援課女性相談
HP

ちょっと覗いて
みませんか？



フレンデみえ
相談室HP

日ごろから 【小さなNO!!】 が言える、なんでも話せる関係を心がける。

一人で抱えこまず、好きなことを見つけて人と交流する。たくさんの人と繋がって楽しい時間を過ごすことがストレス解消になり、身近な相手ともうまくいくのではないのでしょうか…。

